

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	障害児通所支援事業のんの ルーム 駒場店		
○保護者評価実施期間	令和7年 1月7日		～ 令和7年1月25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	1 (回答者数)	1
○従業者評価実施期間	令和7年 1月7日		～ 令和7年1月25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6 (回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 2月17日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	毎年2～3回の親子レクリエーションの開催を行っている	家族参加型の行事を開催し、自宅では見られない子どもの姿を見てもらいながら楽しい時間を過ごすこと	親子レクリエーションで支援者と利用児の関わり方や指示の出し方を知ってもらう
2	利用児の自立支援も兼ねて、食育活動にも力を入れている	物の名前や使い方の習得と共に協力して作業をする楽しさを学ぶこと	円滑な対人関係の構築やコミュニケーション能力のスキルアップを行う
3	毎月 市立図書館へ行き、本の貸し出しや返却、読み聞かせの会に参加し、地域の子どもと関わる機会を設けている	情緒を豊かにするきっかけづくりと場の雰囲気を観察し、理解する力を養うこと	貸し借りのルールへの理解や他者との関わりを増やしていける様にする

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	近年は感染症の懸念もあり、郊外療育にて地域の公園には出かけていたが、児童館等の集団の中での療育は出来ていなかった	感染症が流行していた為	時期がよければ改善できると考える
2	他に利用児童がない為、同年代児童との関わりを持てる機会が限られている	事業所の周知が不足している	ホームページを活用し、周知の強化を図る
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 障害児通所支援事業のんのルーム 駒場店

公表日 令和7年 2月 27日

利用児童数 令和7年 1月 25日

回収数 1

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	100%					
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	100%					
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	100%					
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	100%					
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	100%					
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	100%					
	7 こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	100%					
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	100%					
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	100%					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	100%					
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。				100%		郊外療育にて地域のこどもと活動する機会を設けているが、周知が不十分なので年未に活動内容の報告を行っている
保護者 への 説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	100%					
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	100%					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。		100%				
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	100%					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	100%					
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	100%					
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。					100%	保護者やきょうだい参加型の行事を開催し、交流の機会を設けている	

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	100%				
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	100%				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	100%				
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	100%				
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	100%				
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	100%				
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	100%				
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	100%				
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	100%				
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	100%				
	29	事業所の支援に満足していますか。	100%				

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		障害児通所支援事業のんのルーム 駒場店				公表日	令和 7年 2月 27日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・ 体制 整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%		活動に合わせてスペースの確保が出来ている		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%		職員の配置数は確保出来ている		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%		利用児に合わせた装飾を行っている		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%		職員が毎日清掃し、消毒作業を行っている		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%		クールダウン時等の必要に応じて使用できる環境を整えている		
業務 改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	100%		朝礼時に職員ミーティングを実施し、問題解決や事業の改善に努めている		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%		1月に実施している		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%		朝礼時のミーティングや必要に応じて個別での面談を行っている		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	83%	17%		外部評価が定期的には行われていない為 検討を行う	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%		定期的に研修会や勉強会に参加し、資質の向上に努めている		
適切な 支援の 提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%		ホームページにて公表している		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%		児・発・管が行っている		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%		個別支援計画案に対し、全支援員が検討している		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%		全職員に共有し、支援を行っている		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	83%	17%		標準化されたツールを今後取り入れる	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%		ガイドラインを基本とし、子どもの特性や家族のニーズに合わせて支援内容を設定している		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%		職員同士で話し合い、活動プログラムを立案している		

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%		興味の幅など子どものニーズに合わせて固定化しないよう工夫している	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%			現在は利用児が1名の為、放デイの児童と集団活動を行っている
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%		朝のミーティング時間に情報共有、役割分担の確認を行っている	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%		ミーティング時に情報共有を行い、支援内容の振り返りを行っている	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%		支援計画に基づき、日々の出来事を記録している	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%		職員全体でモニタリングを行い、児・発・管が見直しを行っている	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%		児・発・管が参画している	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	50%	50%		保育、教育等の機関は通所していない為連携が取れない
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	33%	67%		保育、教育等の機関は通所していない為連携が取れない
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	33%	67%		該当見なし
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	50%	50%	児童発達支援センターで職員研修を受けている	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	50%	50%	郊外療育時(公園・児童館)に障がいのない他のこどもとも交流を図っている	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%		自宅送迎時や連絡帳を活用し、保護者との情報共有にて共通理解に努めている	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	83%	17%	保護者を招いて茶話会を開催している	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%		利用契約時に丁寧に説明している	
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%		児・発・管が保護者の意向を確認して作成している		

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%		個別支援計画を示しながら説明を行い、同意を得ている	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%		曜日を決めて自宅へ訪問し家族支援を行っている	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	100%		保護者やきょうだい参加型の行事を開催し、交流する機会を設けている	
	40	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%		子どもや保護者から相談や申し入れがあった際は全職員で共有し、迅速かつ適切に対応している	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	100%		年間行事予定表を配布しており、行事ごとに詳細を配布している	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%		同意書を交わす等十分に留意している	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%		子どもの特性に応じて視覚・聴覚から情報を得られる様に工夫している。また保護者には連絡帳を活用して情報伝達を行っている	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	50%	50%		流行性感染症等の懸念から地域住民を招待する行事を開催していない
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%		契約時に策定した各マニュアルを配布し、説明している	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%		年3回避難訓練を行っている	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	100%		契約時に保護者より聞き取りを行っている	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。				該当児なし
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%		安全計画を作成し、安全管理に努めている	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%		室内掲示板に掲示し周知を図っている 契約時、個別支援計画作成時、更新時に説明して周知を図る	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%		ヒヤリハット事例が発生した際は全職員で共有し、再発防止対策を行っている	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%		定期的に虐待防止委員会を開催しており、研修も合わせて行っている	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	100%			現在、該当児なし